

1 指導概要

教 科		科 目		
公民		政治・経済	単位数： 2 単位	
② 指導目標：国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身につける。				
メディア視聴		事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書 『政治・経済』東京書籍
スクーリング		1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書 自校作成の教材資料を使用
レポート		全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材 なし
試験		あり	試験評価割合 100%	評 定 100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	現代日本の政治 1 法と民主政治 2 日本国憲法の制定と基本原理 3 基本的人権の保障		第 1 回 (4/30)	第 1 回 ・法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。また大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解する。 ・「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきかを考える。 ・国会の権限や組織、運営について理解する。 ・内閣の権限や内閣と国会の関係について理解する。 ・司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、裁判員制度について理解する。 ・日本の地方自治にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきかを考える。
2	日本の政治機構・現代政治の特質と課題 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治		第 2 回 (5/30)	
3	現代日本の経済 1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容 3 生産のしくみと企業 4 市場経済の機能と限界		第 3 回 (6/30)	
4	日本経済の発展と現状 1 戦後日本経済の発展 2 農業・食料問題 3 雇用と労働問題		第 4 回 (7/30)	第 2 回 経済の変遷と産業構造の変化について理解する。 ・これからの日本の農業と食料はどうあるべきかを考える。 ・労働問題が発生する理由や、憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解する。。

5	現代日本の諸課題・国際政治のしくみ 1 地域社会の活性化 2 多様な働き方・生き方の実現 3 国際政治の特質 4 国際連合の役割と課題	第 5 回 (8/30)		・地域社会の現状について理解する。 ・性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるか考える。 ・主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解する。また、国際連合が抱える課題について考える。
6	現代の国際経済・国際社会の諸課題 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 人口・貧困・感染症 4 国際的な経済格差の是正	第 6 回 (9/30) 提出期限 (11/28) ※提出予備日 (1/15)		・貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取引について理解する。 ・先進国から発展途上国への資金の流れがどのようになっているか理解する。 ・持続可能な社会の形成に向けて国際社会はどのように取り組むべきか考える。また、貧困と開発援助の現状について理解する。

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に 5 段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果 (7 割) 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2 割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物 (1 割)
--

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。最近の出来事を知ることが重要なので、親御さんに聞いてみるのもいいかもしれません。